

平成28年度の高知県における被措置児童等虐待の状況等について

児童福祉法第33条の16及び同法施行規則第36条の30の規定により、平成28年度高知県において対応した被措置児童等虐待の状況等について公表します。

1 虐待案件受理の状況

受理件数	虐待該当	虐待非該当
8件	5件	3件

2 被措置児童等虐待事案の状況

施設等の種別	施設職員等種別	虐待の種別	被害児童	
			男児	女児
里親等	里親	身体的虐待	1名	—
社会的養護 関係施設	児童指導員	身体的虐待	4名	—
	保育士	心理的虐待	—	1名
障害児施設等	児童発達支援 管理責任者	身体的虐待	1名	—

3 県が講じた措置

- ・ 里親名簿登録抹消 1件
- ・ 文書による改善指導 4件（うち1件は改善勧告）

【参考】

○ 児童福祉法

第33条の16 都道府県知事は、毎年度、被措置児童等虐待の状況、被措置児童等虐待があった場合に講じた措置その他厚生労働省令で定める事項を公表するものとする。

○ 児童福祉法施行規則

第36条の30 法第33条の16の厚生労働省令で定める事項は、次のとおりとする。

- 一 次に掲げる被措置児童等虐待があった施設等の区分に応じ、それぞれに定める施設等の種別
 - イ 小規模住居型児童養育事業及び里親 里親等
 - ロ 乳児院、児童養護施設、情緒障害児短期治療施設及び児童自立支援施設 社会的養護関係施設
 - ハ 知的障害児施設等及び指定医療機関 障害児施設等
 - ニ 法第12条の4に規定する児童を一時保護する施設又は法第33条第1項若しくは第2項の委託を受けて一時保護を加える者 一時保護施設等
- 二 被措置児童等虐待を行った施設職員等の職種